

マイクロものづくり大学

『ゴム技術講習会 ―ゴム製品のものづくり技術―』（第2回）のご案内

岡山県では、産学官の連携事業「マイクロものづくり岡山創成事業」の一環として、「マイクロものづくり大学」と銘打ち、講習会等を開催しております。この度、中国ゴム技術研究会との共催により、ゴム技術講習会（第2回）を開催しますのでご案内いたします。

ゴム製品のものづくりに役立つ情報として、寺子屋 代表 萩本光広氏から『ゴム製品開発におけるCAEの効率的活用方法と根本的製造過程からの課題』と題してご講演いただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 令和2年9月10日(木) 13:00～16:00
2. 場 所 テクノサポート岡山 1F 大会議室 (岡山県岡山市北区芳賀 5301)
3. 演 題 『ゴム製品開発におけるCAEの効率的活用方法と根本的製造過程からの課題』
講 師 寺子屋 代表 萩本 光広 氏

1988年3月 明治大学大学院修士課程修了、同年株式会社フコク入社。
防振設計3年間担当した後、研究部発足に伴いFEM解析を主担当として、導入提案から立ち上げ、運用に至るまで実務・管理を担当し、防振製品・シール製品・樹脂ブーツ・超音波モーターの解析。開発者自身の解析システムの効率化、解析及びCADの自動化導入を実施。
1991年～同志社大学に於ける二軸試験機でのエネルギー関数測定開始。
2003年～アンシスジャパン様、ニュートンワークス様、日本ゴム協会様などで講師
2005年株式会社フコクを退社、山下ゴム株式会社に入社し、CAE部門技術構築CAE解援隊ホームページを2008年より開設し、解析方法、材料データ構築についての技術情報配信に協力しながら、2016年に独立、寺子屋としてコンサルタント業務を主業務とする。

概 要

- (1) ゴムの基本特性を理解することでFEM解析精度が格段に向上します。基本式である応力=ひずみ×ヤング率が必ずしも成り立たないことなど、落とし穴もあります。製造工程も解析結果に影響します。
 - (2) 品質管理、信頼性確認試験における失敗事例についても興味深い失敗事例を中心に解析を交えて説明します。
 - (3) 開発におけるCADや解析、結果処理、リバースエンジニアリングの省力化、自動化による工数削減を自ら行えるヒントを紹介いたします。
4. 参加費 無 料
 5. 申込方法 9月3日(木)までに (1)セミナー開催日、(2)参加者氏名、(3)企業名、(4)所在地、(5)ご役職、(6)電話番号をご明記の上、E-mailにより、下記までお申し込みください。(定員：70名)

【講習会申込み・問い合わせ先】

E-mail : masashi_urabe@pref.okayama.lg.jp

担当：岡山県工業技術センター 技術支援科 浦部 匡史

(TEL:086-286-9600)

【重要なお知らせ】

<新型コロナウイルス感染症対策について>

- ①参加当日に感染の疑いがある症状がある方は入場できません。
- ②参加者数を最大収容人数の半数以下に制限していますので、超えた場合には申込者の多い企業に人数調整をお願いすることがあります。
- ③必ずマスクを着用していただき、手洗いの励行や参加者間の距離確保等に努めてください。
- ④今後の状況により特定地域からの参加をお断りする場合や、悪天候等による中止の場合もありますので、ご来場前には、最新情報を岡山県工業技術センターWEBサイト等でご確認いただきますようお願いいたします。

<駐車場について>

駐車可能台数には限りがありますので、公共交通機関のご利用や相乗りでお越しいただくなどのご協力をお願いいたします。

(岡山県工業技術センターWEBサイト <http://www.pref.okayama.jp/site/kougi/>)